



Title	大爺栄一教授略歴
Citation	北海道大學 經濟學研究, 30(1), 361-362
Issue Date	1980-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/31496
Type	bulletin (article)
File Information	30(1)_P361-362.pdf



[Instructions for use](#)

大 爺 栄 一 教 授 略 歴

- 大正5年5月 北海道札幌市において出生。生家は札幌農学校の寄宿舎を移築した建物である。
- 昭和8年3月 北海道庁立札幌第一中学校第4学年修了。
- 昭和8年4月 北海道帝国大学予科農類入学。
鈴木限三，ヘルマン・ヘッカー，結城謙治，西村稔などの諸先生に教えをうける。
病気のため1年留年する。
- 昭和12年4月 北海道帝国大学農学部農業経済学科に進む。同級生13名。
- 昭和15年3月 同学科を卒業する。
- 昭和15年5月 北海道帝国大学農学部副手に採用される。
以後上原徹三郎（植民学），渡辺侃（農業経営学）両教授に師事する。
- 昭和19年6月 同学部助手となる。
- 昭和22年8月 同学部助教授となる。経済学説史，農業地理学の講義を担当する。
- 昭和26年7月 第2回ガリオア資金留学生に選ばれ，1年間アメリカ合衆国に留学。
ウィスコンシン大学大学院において Glenn Trewartha, Clarence Olmstead 教授などに指導をうける。
- 昭和29年1月 前年独立した経済学部に渡辺教授と共に移籍する。
以後経済地理学，経営立地論，経営学第2部などの講義を担当する。
- 昭和36年7月 北海道大学教授（経済学部）に昇任する。
- 昭和37年3月 経済学博士の学位を授与される（北海道大学）。

昭和37年4月 ドイツ連邦共和国その他の諸国へ出張。(6ヵ月)
以前から研究上で親交のあったミュンスター大学(後にルー
ル大学)教授 Peter Schöller 博士の配慮と援助をうける。
その後昭和42年, 46年にも同国を中心とする諸国に出張し,
経済地理学, 都市地理学に関する研究を行なう。

昭和49年4月 }
~51年3月 } 北海道大学経済学部長事務取扱に任ぜられる。
昭和52年8月 }
~同年12月 }